

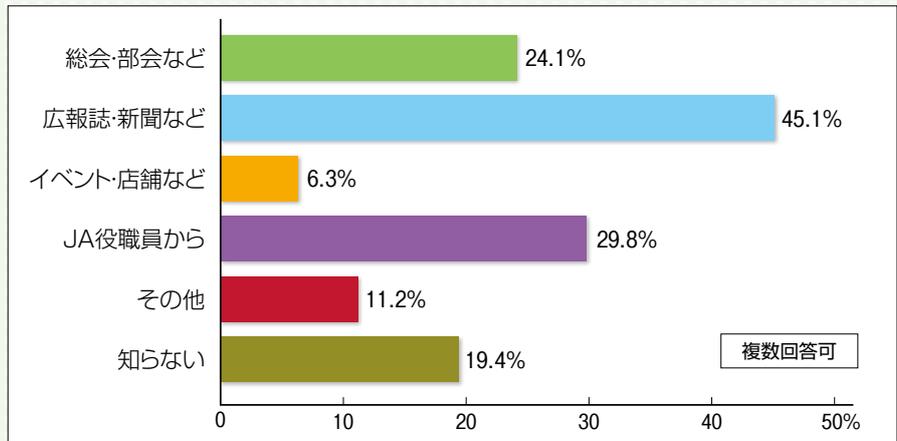
# JA自己改革に関するアンケート結果のお知らせ

JA豊橋では、「農家所得の向上」「組合員と役職員との徹底した議論」「准組合員の地域農業応援団化」を柱とする自己改革を実践しています。平成30年1月から2月にかけて、正・准組合員の皆様にご協力いただき、自己改革に関するアンケートを実施させていただきました。今回はアンケートの実施結果をお知らせいたします。今後、この結果をもとに、より一層組合員の皆様の期待に応え、信頼されるJAを目指してまいります。

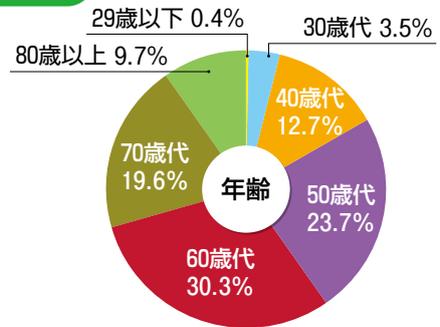
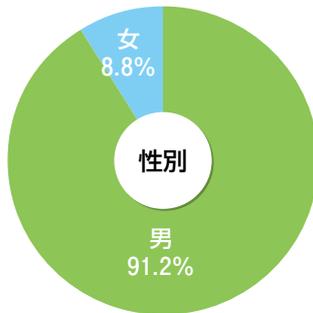
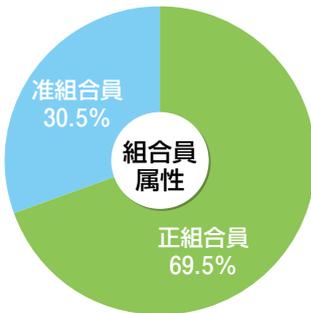
対象者：正組合員 1,021名 准組合員 472名 合計 1,493名(うち回収数 1,470名 回収率98.5%)

## Q. JAの自己改革をどうやって知りましたか？

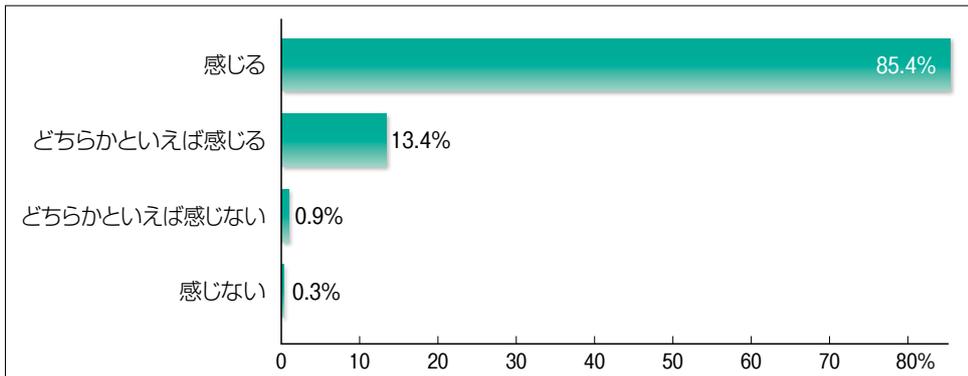
JAが実施している自己改革については、「広報誌新聞」で知ったが最も多く45%、次いで「JA役職員から」直接聞いたが30%という結果となりました。一方、自己改革について「知らない」方も19%であることから、今後も広報誌やホームページを中心に自己改革の取組みについての情報発信を行い、更なる周知に努めてまいります。



## アンケート回答者の属性

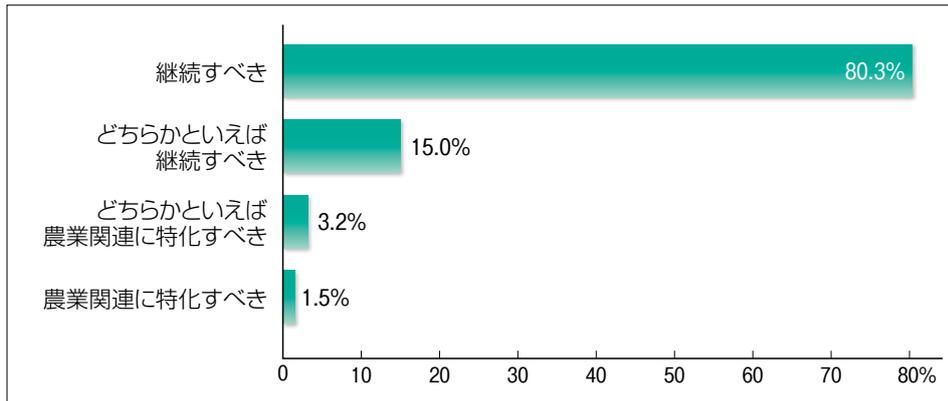


## Q. JAは地域農業や暮らしにとって必要だと感じますか？



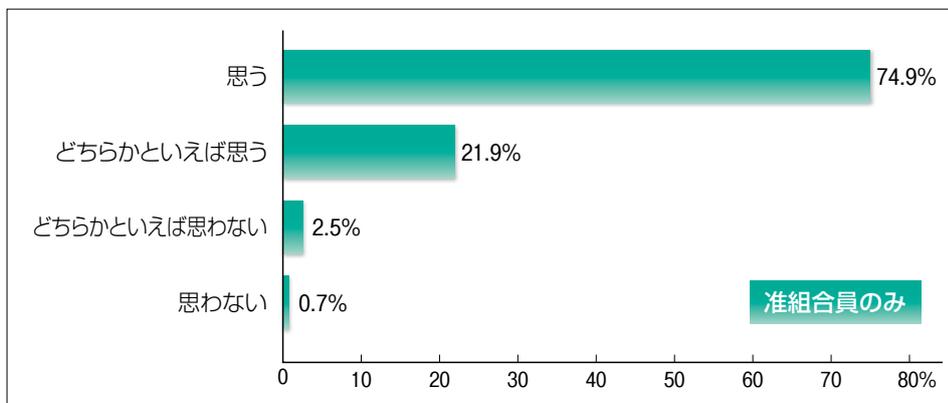
JAの必要性について「感じる」「どちらかといえば感じる」合わせて98.8%が必要であると感じています。今後もより一層地域農業や暮らしに貢献できるような事業を展開してまいります。

## Q. JAが行う総合事業（営農・経済・金融・共済など）についてどうお考えですか？



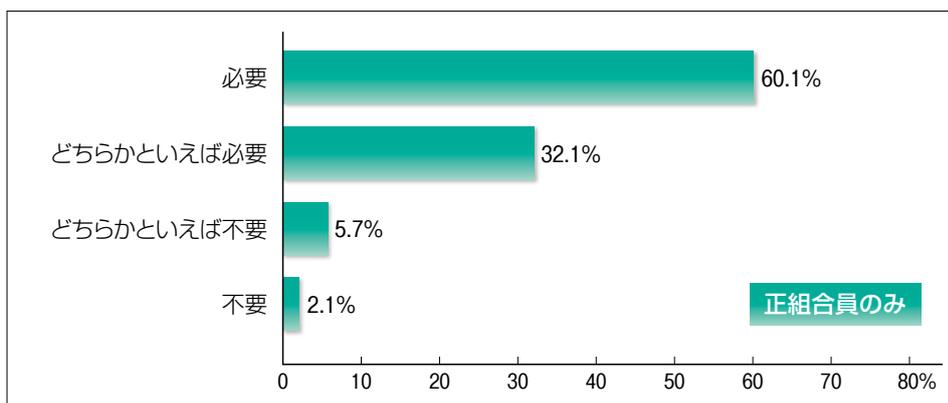
JAが行う総合事業については「継続すべき」と「どちらかといえば継続すべき」合わせて95.3%が継続すべきとお考えです。当JAとしても、様々な事業・サービスをを通じて組合員や地域の皆様の生活に貢献してまいります。

## Q. 地産地消や農業体験を通じてJAを応援したいと思いませんか？



准組合員のうち、地域の農畜産物を食べることや農業体験などを通じてJAを応援したいとお考えの方が96.8%という結果となりました。産直店での地元農畜産物の購入や、各種食育活動などぜひ参加してみてください。

## Q. 准組合員のJA事業利用は正組合員にとっても必要だと思いますか？



准組合員の事業利用について、92.2%の正組合員の方が必要だとお考えです。准組合員による事業利用も地域農業の発展・振興に繋がっていきまします。今後も正准組合員双方に満足いただける事業を展開してまいります。

## 准組合員の事業利用規制

正組合員も  
准組合員も同じJA  
の仲間です！



政府による農協改革の一環として、准組合員事業利用規制が検討されています。具体的な内容については現状では定まっていませんが、平成31年5月までとされている「農協改革集中推進期間」終了後に利用実態や自己改革の実践状況の調査を実施したうえで判断されることとなっており、場合によっては、准組合員の事業利用が大きく制限される可能性もあります。

こうした制限を受けないために、准組合員の皆様に産直農産物の購入を通じて地域農業を応援していただくこと、また、正組合員の皆様に准組合員の方が地域農業にとって必要なパートナーであるという評価いただくことが重要となります。

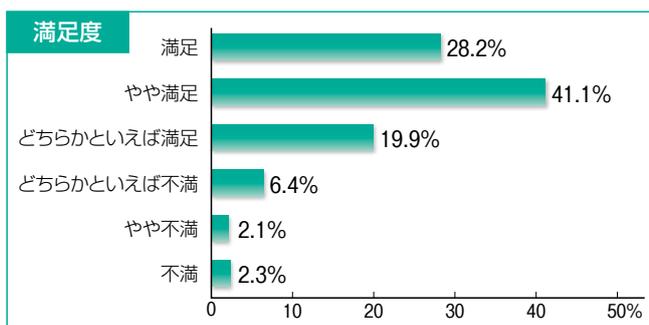
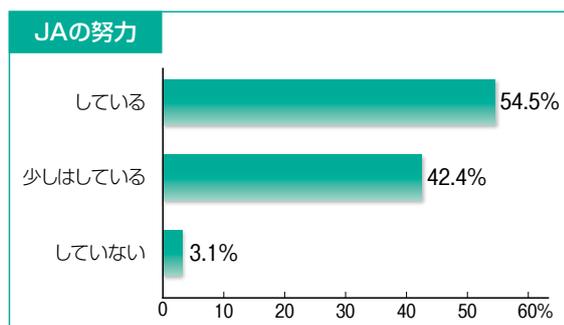
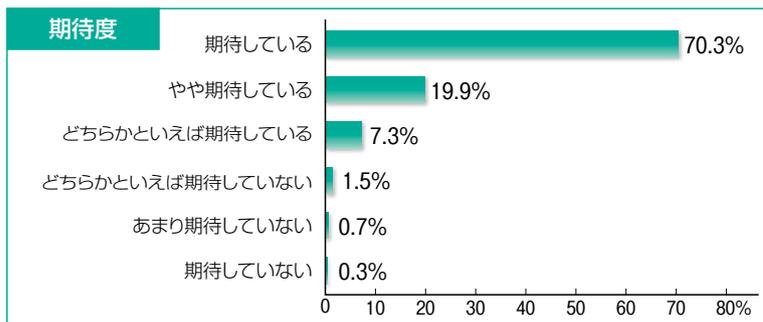
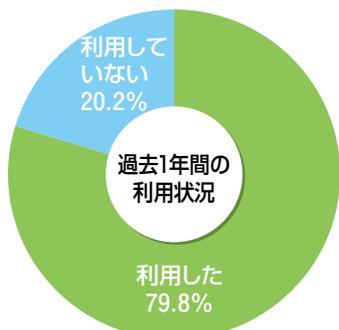
営農指導事業を利用されている方のうち「やや期待」「どちらかといえば期待」を含めて97.5%の方が期待をしていますが、「やや満足」「どちらかといえば満足」を含めて満足している方は89.2%で8.3%の開きがあります。今後も組合員の皆様に満足いただけるよう指導態勢の強化に努めてまいります。

農畜産物販売事業においては、同様に97.6%の方が期待をしていますが満足している方は89.6%で8.0%の開きがあります。豊橋産農畜産物のPRや重点顧客との関係をより一層強化し、有利販売に努めてまいります。

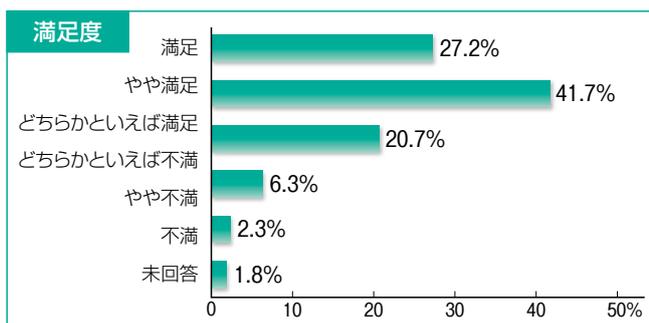
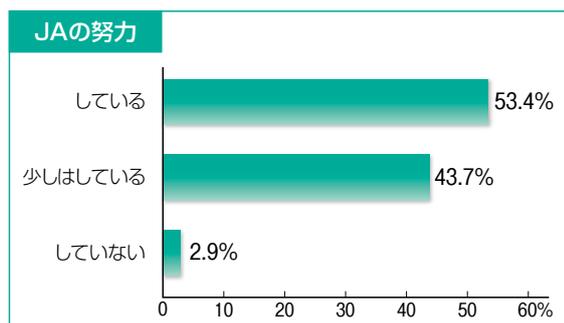
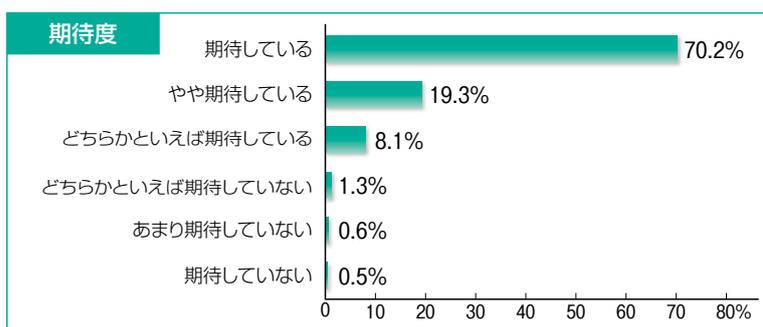
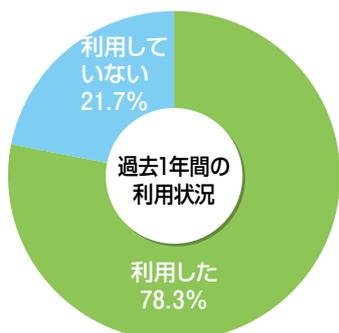
生産資材購買事業においては、同様に95.7%の方が期待をしていますが、満足している方は87.3%で8.4%の開きがあります。今後も生産コストの価格低減に努め、農家経営の安定化に貢献できるよう努めてまいります。

今回のアンケートでは全ての項目において期待度と満足度に関きがある結果となりました。今後はより組合員の皆様の満足度を充足できるよう努力してまいります。

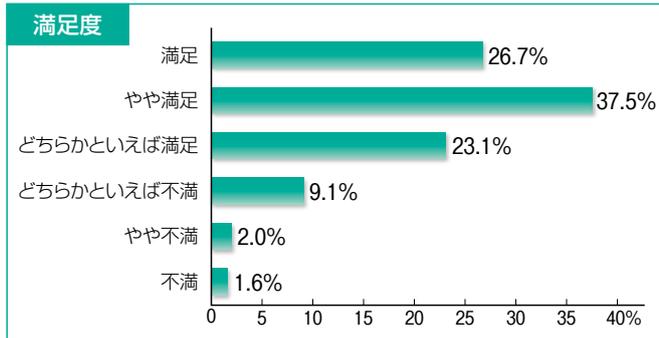
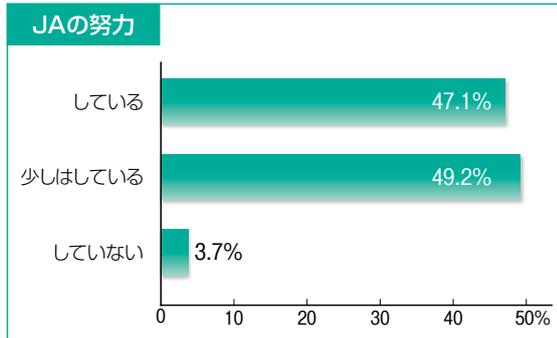
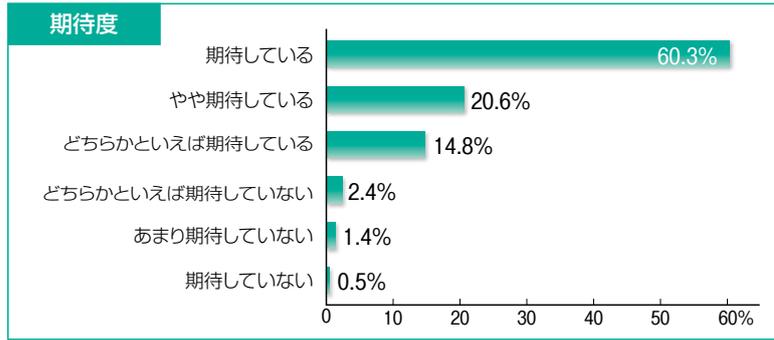
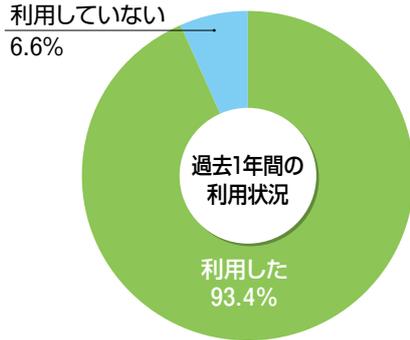
## Q. 営農指導事業について (正組合員のみ)



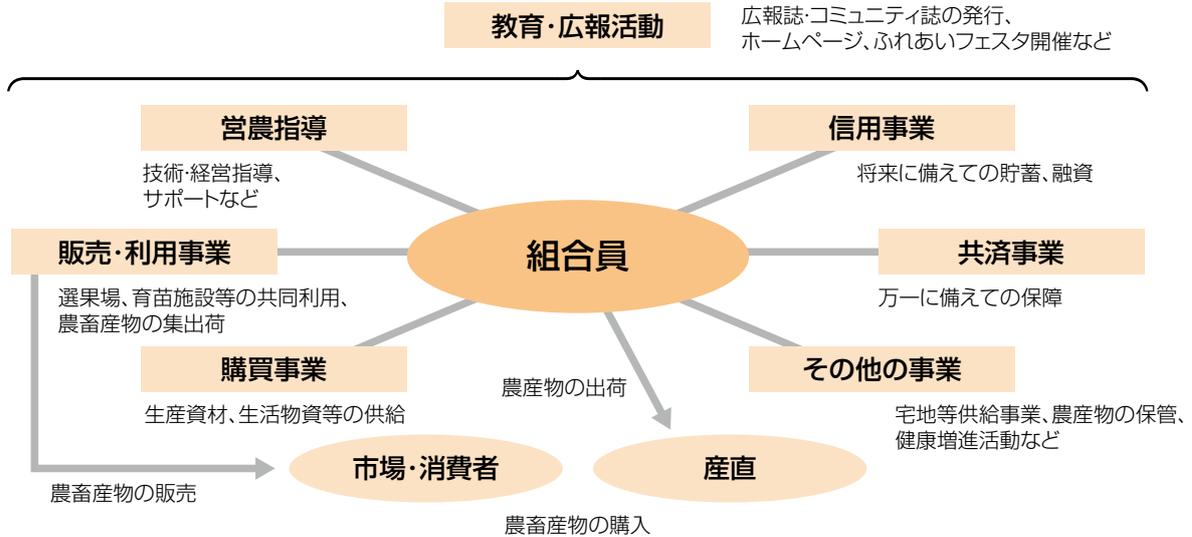
## Q. 農畜産物販売事業について (正組合員のみ)



## Q. 生産資材購買事業について（正組合員のみ）



## 組合員とJAの関わり



JA豊橋では自己改革の更なる実践に向け、役職員が一丸となり取り組んでまいります。その中で組合員の皆様のご意見・ご要望は非常に重要なものとなります。今後は上期の事業報告会の開催も予定しております。また、各生産部会の会合をはじめとするJA役職員と接する機会において積極的なご意見をいただき、「組合員と役職員との徹底した議論」を実践していきたいと考えておりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

「農家所得の向上」については、今後も継続して取り組んでいく課題であり、今年度策定する第6次総合中期計画においても具体的取組みを検討するとともに、今年度策定した地域農業ビジョンの実現をめざし、取組みを進めてまいります。

「准組合員の地域農業応援団化」については、増加する准組合員の皆様に対し、JA・農業への理解をより一層深めていただき、組合員とJAが一体となって地域農業を発展させていけるよう取組みを進めてまいります。

最後に、今回のアンケート結果やいただいたご意見をJA経営や事業計画に活かし、より信頼されるJAを目指してまいります。

(注1) 今回のアンケートは全組合員の中から無作為に抽出した方を対象に実施しました。

(注2) 回答は有効回答のみを集計しています。